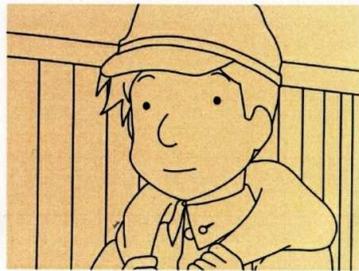
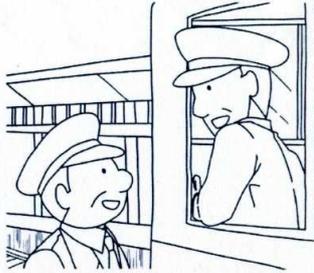
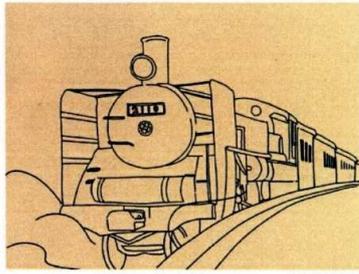


## 森田駅物語

―ある駅長さんの回想―



森田駅の駅長を主人公に

アニメーション 完成!

時は昭和六十二年三月末日。国鉄が民営化、J Rと名称を変える日がすぐそこに迫っていた頃。森田駅の駅長さんは定年退職を迎え、妻に見送られながら出勤する。・・・(森田駅物語より)

関連記事 9ページ

### 活動報告

- 2月22日 福井市地域生活交通活性化会議
- 3月7日 福井市まちづくり成果発表会
- 14日 臨時理事会
- 19日 3月例会・理事会

### 今後の予定

- 3月25日(木) 福井鉄道 新駅開業(スポーツ公園駅) 駅名変更(裁判所前 仁愛女子高校) (福井新 赤十字前) (上鯖江 サンドーム西) (西武生 北府:キタゴ) (武生新 越前武生) 福武線ダイヤ改正
- 4月16日(金) 都市化研究公室報告会(兼4月例会)

### ゆうじんの部屋 書籍紹介

高速無料化が日本を壊す 上岡直見  
コモンズ 1800円+税

道路課金の研究成果を勉強することが仕事でかつ上岡直見ファンの私にとっては、どこかで読んだ記事の寄せ集めで、既に作ってしまった道路をどう使うか等の視点が甘いなど、不満が残る内容であるが、高速無料化論争がよくわからないから勉強したいとか、高速無料化は公共交通を衰退させたりCO2排出を増やしたりして良くないことを人に訴えるためのデータが欲しい人にとっては、多くの情報と注意深い文章立てでまとめたお値打ち感のある本である。

この本で頼りなさを感じた人は、是非「自動車にいくらかかっているか」を併せて読むことをおすすめする。

東京会員 美濃部 雄人 Minobe Yujin

本書は GIS (地理情報システム) を用いた交通体系と土地利用および施設配置との関係を分析し、地方都市の特性に応じた公共交通やまちづくりの実態と課題について述べたものです。

第 1 部「地理情報システムを用いた公共交通政策」(第 1~3 章)では、まず GIS を用いて交通体系と地域の課題をマップとして視覚化することの有用性とバスマップの活用について書いています。さらに、市民生活の基本単位である大字・町丁目ごとに公共交通と土地利用や施設配置との関係を分析する方法として交通地域区分を提起し、地方都市における都市機能の近接性と集中度を数値化、視覚化しました。

第 2 部「市民が支える公共交通とまちづくりの事例研究」(第 4~8 章)では、北陸 4 都市の交通地域区分による分析と事例をもとに、公共交通やまちづくりの課題について取り上げました。市民と行政が協働で万葉線を存続させた高岡(第 4 章)、トランジットモール社会実験と京福の運行休止の体験を経て公共交通に対する評価を変化させた福井(第 5 章)、日本初の本格的 LRT といわれる富山ライトレールを主幹事業としたコンパクトシティ構想に基づく政策を進める富山(第 6 章)、中核都市で LRT システムが導入された場合の効果を検証した金沢(第 7 章)について各都市の実態と課題について述べました。最後に、公共交通の社会的便益と支援制度、地域公共交通活性化・再生法についてまとめてあります。

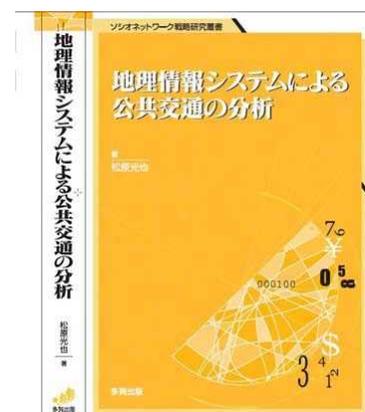
第 5 章の福井の事例で、のりのりマップをはじめとする ROBA の活動についても書いていますので、よろしければ、ご覧ください。専門書なので値段が高いですが、お近くの図書館に購入依頼を出していただき、入ったら借りて読むというのがお勧めです。

『地理情報システムによる公共交通の分析』松原光也著、多賀出版

A5 版・上製・320 頁 定価 4,460 円 (本体 4,200 円 + 税)

ISBN 978-4-8115-7561-2 C1065

<http://www.taga-shuppan.co.jp/books/books.php?id=704>



## 目次

### まえがき

#### 【第 1 部 地理情報システムを用いた公共交通政策】

第 1 章 地理情報システムによる交通体系の可視化と交通政策の立案支援

第 2 章 公共交通と都市構造の課題

第 3 章 地方都市の分類と地方都市の交通実態 - 交通地域区分と都市の集約度の分析 -

#### 【第 2 部 市民が支える公共交通とまちづくりの事例研究】

第 4 章 万葉線第三セクター化による高岡のまちづくり

第 5 章 福井トランジットモール実験を契機とした公共交通に対する評価の変化

第 6 章 富山市の都市機能配置とライトレール

第 7 章 地方中核都市金沢における都市政策と公共交通体系の課題

- LRT システム導入の効果に関するシミュレーション結果を加味して -

第 8 章 公共交通の費用便益分析と支援制度に関する考察

### 用語集

付図：世界の路面電車と LRT 分布図

## 福井市福井鉄道福武線サポート団体協議会報告

『福井市福井鉄道福武線サポート団体協議会』の理事会に出席して参りましたので報告します。

去る2月18日、内田会長と清水が、清明公民会で開催された協議会の理事会に出席しました。今回、各地区で、サポート団体や自治会連合会の会長が交代し、役員の一部が代わり、その体制での最初の理事会となりました。

理事会の議事では、福井鉄道福武線活性化連携協議会の委員となる代表者として麻生津地区福井鉄道福武線サポート団体協議会の佐々木会長を選任したあと、福井鉄道への提言内容が話し合われましたが、これは後日、3市の『福井鉄道福武線サポート団体等協議会』で鯖江市、越前市のサポート団体の提言案との間で調整・合流していますので、後述したいと思います。

また、議事のあと、福井鉄道佐々木専務から、平成22年度の利用促進活動について報告がありました。その内容は、

- ・越前市の新駅『スポーツ公園駅』が3月25日に開業、それに合わせてダイヤ改正が行われる。
- ・改正では、朝の福井方面への急行が1本増発。
- ・ベル前駅が急行停車駅に。
- ・終電が4月1日から平日（月～金）23時福井駅前発に。
- ・昼間全列車 武生新 市役所前 福井駅前 市役所前 田原町に。
- ・3月25日に記念式典開催。
- ・3月22日～26日 ベルにてぬり絵展示。
- ・3月27日 スポーツ公園にて記念イベント。
- ・当日、フェニックスプラザにて地酒イベント開催。1500円をフリーチケット付きで1400円に。
- ・22年度、足羽踏切付近、森行踏切付近に新駅開設（12月までに）。
- ・22年度、駅舎改修（西山公園、水落、ベル前）。
- ・22年度、パーク&ライド駐車場整備（花堂、江端、三十八社）。
- ・市財源で新駅に駐輪場設置。

というものでした。

なお、6日後の2月24日には福井市、鯖江市、越前市の3市サポート団体による、『福井鉄道福武線サポート団体等協議会』が鯖江市で開催され、これには清水が代理出席しましたが、ここで、福井鉄道への提言がまとめられましたので、併せて報告します（要約）。

- ・割高感のある途中区間の運賃の見直し
- ・越前市内 福井市内間運賃を安く
- ・高齢者や学生が利用しやすいよう区間運賃を安く
- ・高齢者・障害者が気軽に利用できるよう運賃割引制度を検討、実施
- ・高齢者の外出支援として割引制度設定
- ・沿線催事・祭を大々的に宣伝し、割引運賃を設定
- ・越前市内 福井市内区間の所要時間短縮
- ・通勤・通学時間帯の特急運転

以上

（報告：清水）

出席：内田桂嗣  
報告：内田桂嗣

## 平成 21 年度 第 2 回福井市地域生活交通活性化会議

日時：平成 22 年 2 月 22 日 13:30 ~ 15:00

場所：福井市役所 8F 会議室

委員：座長 川本義海福井大学大学院准教授

自治会連合会、連合婦人会、老人クラブ連合会、PTA 連合会、ROBA、福井鉄道自動車部、京福バス、まちづくり福井、光タクシー、えちぜん鉄道、県バス協会、県交通運輸産業労働組合、福井運輸支局、県・交通まちづくり課、市・交通政策室

目的：平成 18 年 10 月度道路運送法改正により、地域の関係者が地域交通を検討する「地域交通会議」のしくみが導入。それに従い多様なニーズに的確に対応した運送サービスを提供し、活力ある地域社会を実現すること。(主にバス交通に関する協議の場)

議事：案件 地域特性にふさわしい交通サービスの確保について

22 年度の取組みとして、地域コミュニティバスの運行について住民等の合意形成がはたされた地域は、運行協議会の設置、市の運行支援事業の認定等の後、地域コミュニティバスの試行運行を開始する。

市は運営に係る経費に対し、協議会への活動補助金として 10 万(対象経費の 1/2) 運行経費の補助金として 800 万を上限として確保する。なお算入できる経費としては、人件費、燃料代、点検料、修繕費、減価償却費などである。

なお、試行運行は開始から 2 年目の年度末までで、本格運行の可否は運行規準に基づき市が決定する。本格運行後も、利用状況に基づき 3 年ごとに運行継続の可否を判断する。本格運行後も運行補助は継続する。

本件に関し、関心や意欲のある地域から要請があれば、説明会や勉強会を随時実施していくとのこと。

案件 赤十字病院線の新設について(福井鉄道)

目的：福鉄(電車)を利用して、赤十字病院を訪れる高齢者等の利便性を図る。

運行系統：福井新駅～赤十字病院～福井新駅

3 月 25 日から福井新は赤十字前に駅名変更

停留所：福井新に新設、途中の停留所は設置しない。

運賃：一乗車 50 円(子ども、身障者も同一運賃)

運行車両：定員 10 名の普通車

予定運行本数：福井新駅発着の電車に接続し、随時運行(土日祝日、12 月 30 日～1 月 3 日を除く毎日)

運航開始予定日：平成 22 年 3 月 25 日

#### その他案件麻生津線の麻生津循環線利便性向上について

これまで麻生津線は通勤時間帯は田原町 上杉の木台間を運行、昼間帯は田原町 下荒井間を運行していましたが、3月25日からは全便田原町 下荒井間の運行とする。これに伴い、麻生津循環線の増便と一部路線を拡大して麻生津線の利便性を図った。特に杉の木台側の循環線は月～土10便運行から月～金23便、土日祝は12便と2倍相当の増便となる。

本件改正の目的は 地域間の輸送は電車でシフトしてもらう。麻生津地域内移動の利便性を高め、特に福井鉄道浅水駅でのアクセスの利便性を高めることにあります。しかしながら、マイナス要因としては杉の木台 下荒井のバス路線がなくなりました。

#### (その他)

ROBAから特別報告として、昨年実施したモビリティウィーク&カーフリーデーの報告を文書で行ないました。目的は、福井市の委託事業の完了報告 モビリティウィーク&カーフリーデーの認知度のアップ 公共交通活性化のバックアップとしてのROBAの活動の広報 モビリティセンターとしての機能の紹介である。

#### (内田からの質問)

Q：麻生津線の杉の木台 下荒井間の乗客の利便性が低下するが、その間の利用者数はどの程度か？

A：その間での乗降はほとんどない。

Q：福鉄電車でシフトして、麻生津循環の利便性を強化するのはより多くの地域住民の利便性を確保する為の変更ですね。

A：そうです。

Q：福井駅 杉の木台のバス運賃と福井駅 浅水駅の電車運賃+循環線バス運賃との比較は？

A：バス運賃は田原町 杉の木台540円、福井駅 杉の木台470円である。

電車運賃は福井市内 麻生津駅220円、麻生津循環バス160円で合計380円となり運賃も安くなる。

以上

## 「誇りと夢・わがまち創造事業」まちづくり成果発表会に参加しました。

日時 3月7日(日) 12:30~17:00

場所 ユーアイふくい 多目的ホール

今年度のまちづくり成果発表会では、福井市政120周年の記念となるため、これまでの成果発表会より少しだけ内容を充実して発表会が行われました。プログラムの一部である協働のまちづくりシンポジウムのコーディネーターとして参加しましたので、その報告をします。

福井市のまちづくりは平成10年度から始まり、平成19年度からは「誇りと夢・わがまち創造事業」として事業展開しているものです。この「誇りと夢・わがまち創造事業」には民学協働推進コースとNPO協働推進コースがあり、このコースに助成金を申請した地域(5地域[東郷・国見・岡保・森田・清水南])が地域の事業について説明を行った後にディスカッションが行われました。ディスカッションの時間は全体で40分程度しかなく、質問も4項目用意したのですが、実際には3項目の内容しか聞くことができませんでした。

総合的な感想としては、どの地域も学生等と協働することで地域に新しい風が入り、地域の熟年層の凝り固まった考え方を見直すきっかけになったという意見が多く聞けました。

どの地域でもそうですが、学生を含めた若者世代が地域のまちづくりに参加しないため、まちの担い手が熟年層に偏ってしまい、その結果子供が地域に出にくい状況がありとのこと。そこに若いパワーが入ることで、イベントでも子供達が気軽に参加しやすい環境になったらいいです。確かに子供の立場で考えると、怖そうなおじさんより年齢層(発想?)に近い学生だと気が合うのかも知れません。しかし、地域も学生の一過性の力を頼っていたら自立ができなくなるので、イベント企画とスタッフとして学生を頼るのではなく、学生との協働の中から学び、自立できるような力を蓄えてくれることを期待したいです。

その点では、森田地区はJR森田駅を利用しやすい環境にするというテーマで、森田駅利用者として住民・学生とのコラボレーションが他の地域とは違っており、駅を中心に若者も地域の人も駅利用者として地域に参加できる仕組みが上手く出来上がっていました。今後、駅を利用した地域づくりがどのように発展していくのか追跡していきたいです。

(報告 畑みゆき)



会場の様子(鳥居さんを見事キャッチ)



社北地区：パネルが実は小さな写真の集合で作られている



社西地区：社西劇団ちもり一座の劇



麻生津地区：アンサンブルの披露



本郷地区：すこっぱ三味線

3月7日(日)の午後から、生活学習館で開催された福井市まちづくり成果発表会に行ってきました。協働のまちづくりシンポジウムでは森田地区を含む5地区から発表があり、林(照)さんから先月の森田夢駅冬物語イベントと昨年秋の森田地区巡回バス運行について報告されました。短い発表時間(5分)の中で頻りに変わるスライドを目で追うのはかなり厳しく感じましたが、会場入口付近の展示パネルコーナーならびに畑さんの手慣れた司会のおかげで、初めて聞く人にも活動のポイントは十分伝わったのではないかと思います。

このまちづくりシンポジウムの前には仁愛大学コミュニケーション学科からの発表があり、棗地区の課題提起がなされました。棗地区では福井市中心部まで通学するのにバス運賃が高く本数も少ないため、高校入学を機に生徒が下宿するか、あるいは家族全員が引っ越すケースが多く、このため若者が定住しにくく高齢化が加速しているとの実態には正直驚きました。財政面での課題があるとは思いますが、通学定期券の割引率拡大あるいは定期券購入補助制度の導入によって、高校通学に要する交通費の経済的負担を軽くする必要があると感じました。

かつて「難問解決ご近所の底力」の司会を担当されていたNHKアナウンサー松本和也さんの基調講演では、自治会やNPOの活動では特定の人に負担がかからないように「軽く、広く、楽しく」をキーワードに進めていくことの重要性を強調されていました。終始ユーモアを交えたお話は大変わかりやすく、印象に残るものでした。

今回の成果発表会は、ROBAのMLで事前に情報を頂いたので参加できましたが、市政広報の記事だけではおそらく気がつかないと思います。松本和也さんの講演があることを新聞やテレビでも事前にPRしていれば、自治会やNPOの活動に関心のない一般の方の参加も多く見込めたのではないのでしょうか。



パネラーのみなさん



元NHK福井放送局の松本アナ



# えち鉄『三国港駅』改修落成記念イベントに行ってきました。20100313



クラシックな駅舎と資料館です。丁寧に清掃を行き届かせて、定期的に補修して行ってほしいものです。ROBAでもお手伝いができると思います。できたときはきれいだったのに、我が家のそばの八ツ島駅はすでに傷みが目立ち始めています。地元のNPOもイベントに参加していました。NPO同士の連携も必要なのではないでしょうか。MW&CFDに参加していただいた、えち鉄の佐々木さんをはじめとして、同社の社員の皆さんも大変なにぎわいに感激していらっしゃいました。準備は大変だったそうですが、福井の地元資源、大きな財産になると思います。

## えち鉄『三国港駅』改修落成記念イベントに参加！

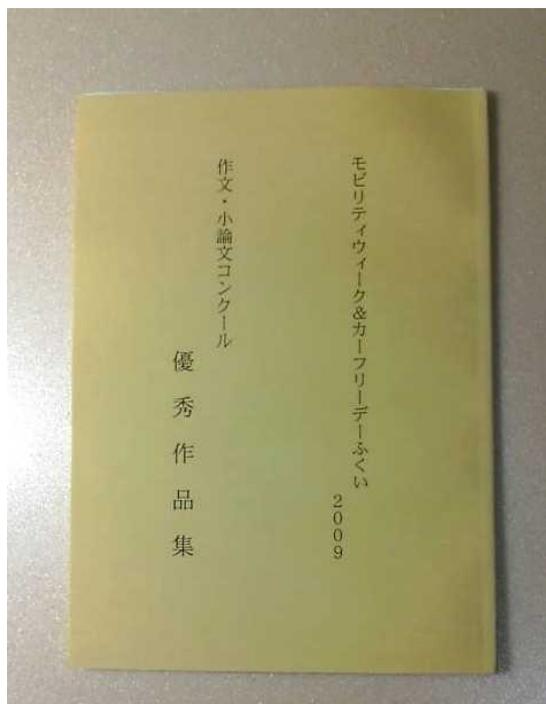
3月13日(土)の三国港駅改修記念イベントに行ってきました。当日は、福井駅発10時40分の電車に乗って三国港駅に行きました。私の乗った電車には大体60人くらいが三国港駅で降りました。到着すると三国高校吹奏楽部の演奏があり、観客も大勢いました。

ほかにもミニ電車イベント物産市もあり、かなりにぎわっていました。観光客の方も多かったようです。アテンダントさんが車内で案内していて、芦原温泉に宿泊した方もおられました。皆さん電車で来られていたようです。

報告 / 玉井秀和

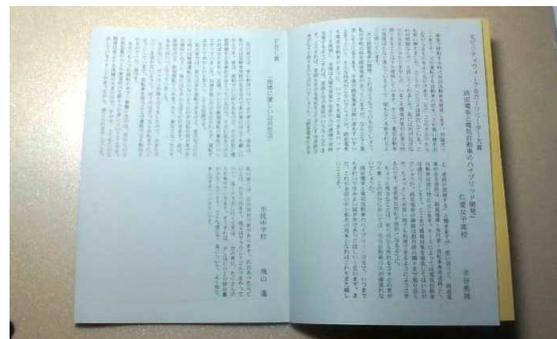
## モビリティウィーク&カーフリーデーふくい2009

『作文・小論文コンクール 優秀作品集』 完成！



おかげさまで、なんとか完成しました。ワープロ打ちと印刷は全部一人でやりました。残念ながら、一ヶ所入力ミスをやってしまいました。手作り感があふれていて、NPOらしいなと思っています。各所へ配布することで、MW&CFDの宣伝・啓蒙につなげることができるのではないのでしょうか。会員各位の配布協力をお願いします。

(事務局・三輪)



## DVD『森田駅物語 - ある駅長さんの回想 - 』 制作 仁愛女子短期大学 岡 千尋

なぜアニメーションを作ったのか？

福井市北部に位置する森田地区。その中にある森田駅は明治三十年開業という歴史ある駅にかかわらず、今や住民の足としての役割を奪われ、活気がない駅になってしまっている。

そんな駅を救うべく、森田地区の住民たちで構成された森田地区文化委員会が立ち上がり、駅の活性化に力を注いでいる。 - 中略 - この活動に関わって一年。その集大成として森田駅のアニメーションを制作した。これを将来設置予定の森田駅のギャラリーで上映することにより、森田駅に興味を持つきっかけになればと思う。

(作品解説より転載)

平成11年、森田駅無人化阻止に尽力された柳沢数一さん(元森田地区連合会長)はこのDVDを見て涙を流されて喜ばれました。芸術の持つ力はすばらしい。この作品は、森田地区の住民にとってすばらしい贈り物となりました。

報告 / 林照翁



作 / 漆寄 耕次

みゆきちゃんのおでかけ日記 Part 2

## どこに止めればいいのかー



ちょっと前の晩秋に名古屋市役所にクルマで行きました。車で市役所に行くのは初めてでした。駐車場があるのは知っていましたケド...。入ってすぐに、「えええええ！駐車マスから車のはみ出てる！」と。とってもビックリしてしまいました。

一緒に名古屋に行った運転手さんも「オレも最初は驚いたって」と言っていました。(そう思うわ)

でも、見てくださいよ。通路の前後に思いっきり余裕幅があるんだけどね。「昔はクルマも小型だったから？」な～んて思ったけど、白線を引き直しすれば解決するし。なんで？

ということで、中央部は停車位置を確認するのが面倒だったので、向かって右側の駐車マスに止めました。

### 編集後記・・・編集委員より一言

林(変集長)

「3月21日(日)9:00～森田駅前/京福バス停で手作りベンチの設置作業を行ないます。」

内田(発行責任者)

「また、年度末が来た。NPOの税務と各種報告が大変だー！」

事務局 特定非営利活動法人

ふくい路面電車とまちづくりの会(ROBA)

910-8031

福井市種池1丁目1905-3

TEL: 0776-25-7968

e-mail: roba@mbh.nifty.com

URL: <http://roba.cocolog-nifty.com/roba/home/>